

事業所名

SOI STANCE KIDS (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念	私たちは、利用者さん、利用者さんのご家族に対して、寄り添い「SOI」の姿勢「STANCE」で支援します。地域の方々、スタッフ、スタッフの家族にも寄り添いの姿勢を大切にします。「SOI」はフランス語で「個性（ソア）」を意味します。		
支援方針	就学前のお子さんに対して、リハビリテーションの視点を活かし、障がいの特性に合わせた評価、プログラムを立案し、1対1の個別対応を行います。生活の基礎となる着替え、食事動作、排泄などの身辺自立、就学に向けて感覚、姿勢保持、発話、構音機能、書字動作など運動機能、コミュニケーションに対しての評価、アプローチを行います。また学習面に必要な認知面のトレーニングとして、ビジョントレーニング、コグトレなどを導入し認知、運動、社会面のトレーニングを行います。		
営業時間	9 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし ※必要に応じて個別に相談
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	年齢や特性に応じて、自分で体調管理（水分補給、衣類の着脱など）をできるよう支援を行う。着替えや排泄、荷物の管理など身辺自立に向けた練習を繰り返し行い、習慣化出来るよう支援する。日中活動に集中できるように生活リズムの把握をする。	
	運動・感覚	姿勢保持が難しい、力加減が調整できない、道具をうまく使えない、上手く発音ができないなど、ひとりひとりの困りごとに対して専門的視点から感覚、筋力、姿勢などの各評価を行い、個別指導を行う。視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用できるような活動を実施し、必要に応じてビジョントレーニング（目の動きのトレーニング）を取り入れる。	
	認知・行動	専門職の評価結果を参考に子どもの特性を把握しながら発達段階に応じて、遊びやプリント課題を通して注意力（見る力、聞く力）、覚える力、想像する力、集中力、空間認識能力などの向上を支援する。	
	言語 コミュニケーション	子どもの発達段階に応じて、言葉の理解・表出を促す遊びや関わり、言葉以外のジェスチャーや絵カードを使ったやりとりの検討などの個別の支援を実施する。就学に向けて、読み書きの基礎になる力を専門的に評価し、必要に応じて支援する。また、発音の誤り（例：か行がた行になるなど）に対して構音検査や舌や唇などの動きのチェックを行い、構音練習を実施する。	
	人間関係 社会性	感情のコントロールが苦手・集団行動ができないなどの個々の困りごとに対して、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施し、相手の表情や気持ちを推測する、自分の感情を理解し気持ちを言葉で伝えるなどの練習を段階的に行う。また、大人や友達へのお願いの仕方、謝り方、断り方などの練習を行う。集団活動におけるルール（順番や約束を守るなど）の確認も実施する。KYT（危険予知トレーニング）を通じて場面から予測される事象に対しての事前対応の仕方、想像力を養う。	
家族支援	ご家族からの相談（生活面、運動面、コミュニケーション面、園での困りごと、進路など）に対して、適切な情報提供を行いながら連携を図る、関係機関と連携を図りチームとして包括的に支援する。	移行支援	就学に向けて関係機関と連携しながら、必要なスキルに対して支援を行う。
地域支援・地域連携	関係機関と情報を共有し、役割分担を行う。得られた情報を今後の療育に反映させていく。行政、教育機関との連携を密に行なっていく。	職員の質の向上	症例検討、研修への参加（職場内研修・外部研修）、他施設の見学、資格取得の促進。
主な行事等			